

# 横幹連合・横幹技術協議会のご紹介

---

慶應義塾大学理工学部  
システムデザイン工学科

佐野 昭

# 横幹連合(横断型基幹科学技術研究団体連合)とは

---

会長 吉川弘之(産業技術総合研究所)

副会長 木村英紀(理化学研究所)

副会長 江尻 正員(元 日立中央研究所)

会員学会:横断型性格をもつ43学協会の連合体

---

(50音順)

応用統計学会、オフィス・オートメーション学会、可視化情報学会、形の科学会、  
経営情報学会、計測自動制御学会、研究・技術計画学会、国際数理科学協会、  
システム制御情報学会、社会・経済システム学会、情報文化学会、スケジューリング学会、  
精密工学会、地域安全学会、日本応用数理学会、日本オペレーションズ・リサーチ学会、  
日本感性工学会、日本経営工学会、日本経営システム学会、日本計算機統計学会、  
日本計算工学会、日本行動計量学会、日本コンピュータ化学会、日本シミュレーション学会、  
日本シミュレーション&ゲーミング学会、日本社会情報学会、日本植物工場学会、  
日本信頼性学会、日本生物工学会、日本知能情報ファジィ学会、日本デザイン学会、  
日本統計学会、日本時計学会、日本人間工学会、日本バーチャルリアリティ学会、  
日本バイオフィードバック学会、日本バイオメカニクス学会、日本品質管理学会、  
日本リモートセンシング学会、日本ロボット学会、ヒューマンインタフェース学会、  
品質工学会、プロジェクトマネジメント学会

# 経緯

---

- ・2001年4月 10学会の代表による「学会連合懇談会」を結成
- ・2001年12月 12学会による提言「横断型科学技術の重要性について」を総合科学技術会議に提出
- ・2002年5月 30学会による「設立準備委員会」発足
- ・2002年8月～2004年3月 平成14・15年度文部科学省科学技術振興調整費政策提言プログラム「横断型科学技術の役割とその推進」を、中核研究母体として推進
- ・2003年4月 任意団体「横断型基幹科学技術研究団体連合」発足
- ・2005年10月 特定非営利活動法人「横断型基幹科学技術研究団体連合」設立（横幹連合）

<http://www.trafst.jp/>

# 横幹技術協議会(横断型基幹科学技術推進協議会)

---

横断型基幹科学技術推進協議会(横断型、融合型技術開発の企業会員)

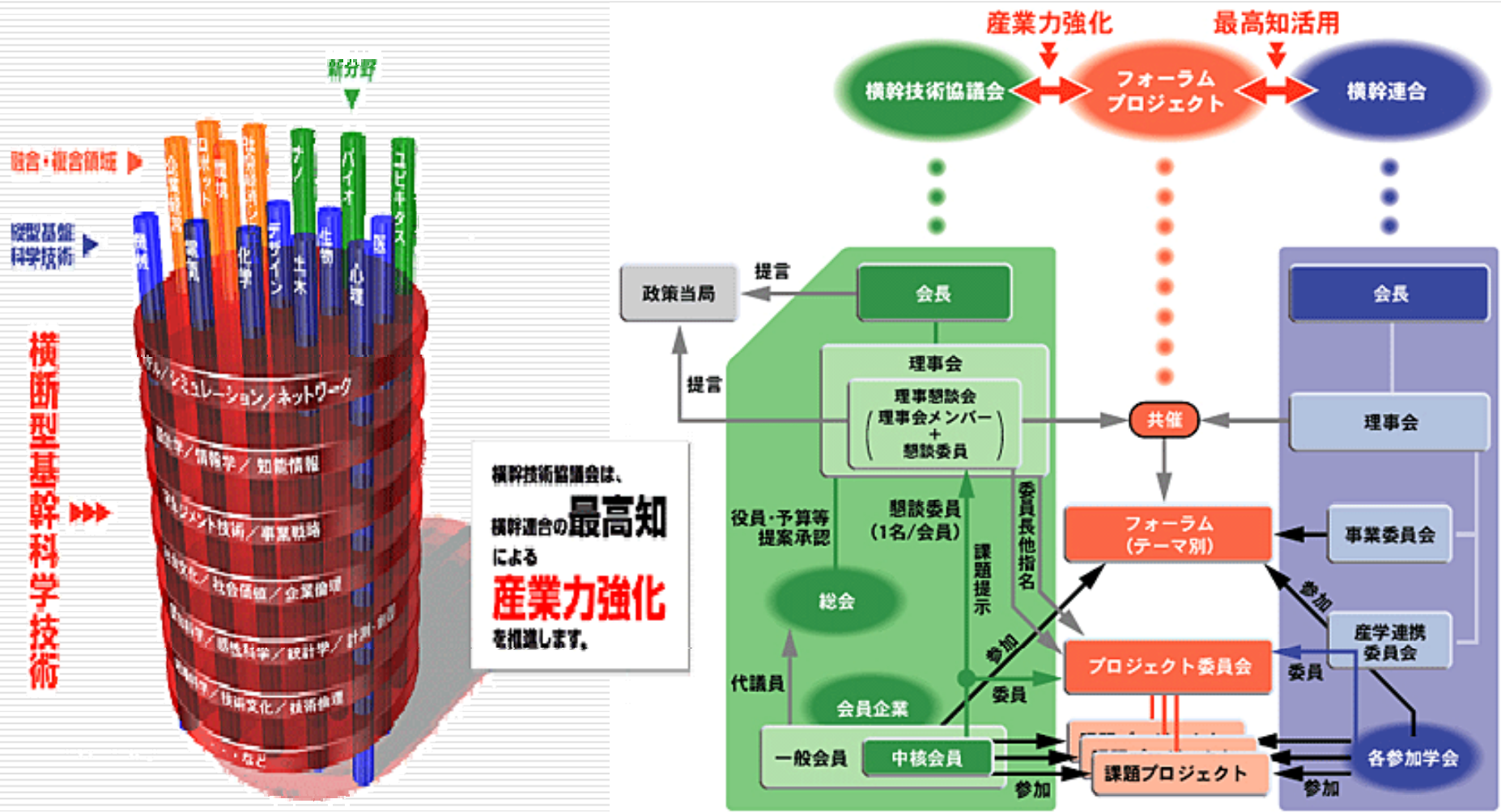
会長 桑原 洋(日立マクセル(株)取締役会長)

副会長 柘植綾夫(内閣府 総合科学技術会議 常勤議員)

副会長 舘 暁(東京大学 教授)

会員企業: (株)NTTデータ、(株)NTTドコモ、花王(株)、鹿島建設(株)  
日産自動車(株)、(株)日立製作所、三菱重工業(株)  
横河電機(株):  
キヤノン(株)、新日鉄ソリューションズ(株)、(株)損害保険ジャパン  
(株)東芝、東レ(株)、トヨタ自動車(株)、本田技研工業(株)  
三菱電機(株)、……

# 横幹連合と横幹技術協議会との連携



# 横断型科学技術の推進に向けた活動

---

第1回横幹連合コンファレンス(2005.11 長野)

第1回横幹連合総合シンポジウム(2006.12 東京)

技術フォーラム(2ヶ月に1回)

技術シンポジウム(1年に1回)

## 技術フォーラムのテーマ例

「安全安心システム実現への挑戦～安全・安心:地震からプラント、航空機まで」

「感性工学が拓く新時代の商品」

「バイオとナノシミュレーション技術の最先端」

「シミュレーション技術の役割と重要性」

「ユニバーサルデザインの考え方とその応用～人にやさしい機械とするためのHMIとは何か？」

「循環型社会への産業界の課題を考える」

「持続可能な社会と産業界の役割を考える」

「世界をリードする先進的モノづくりを目指して」

「科学と技術、そして横断型基幹技術の役割と重要性を考える」

「技術開発の文法:技術開発加速のための統計技法」

「エンジニアと知財問題」

「デジタルエンジニアリング時代の品質管理の課題」

# 政策提言プログラム「横断型科学技術の役割とその推進」

---

## 個別分科会

- ・計測制御情報分科会
- ・人間・ロボット分科会
- ・システムズ・マネジメント分科会
- ・モデル・コンピューティング分科会
- ・生産・設計分科会
- ・社会技術・環境分科会

## 個別WG

- ・教育WG
- ・研究費配分WG
- ・日本の技術文化WG